



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社テンダ 上場取引所 東  
コード番号 4198 URL <https://www.tenda.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 小林 謙  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長COO、CFO (氏名) 菌部 晃 (TEL) 03-3590-4150  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績(2023年6月1日~2023年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	1,070	8.2	120	50.2	123	97.6	77	147.0
2023年5月期第1四半期	989	36.1	80	69.5	62	52.8	31	45.7

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 78百万円( 135.3%) 2023年5月期第1四半期 33百万円( 55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	35.61	35.01
2023年5月期第1四半期	14.49	14.23

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	3,140	2,295	73.1
2023年5月期	3,221	2,289	71.1

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 2,295百万円 2023年5月期 2,289百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	13.3	500	9.8	500	14.4	330	23.7	152.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年5月期1Q	2,184,200株	2023年5月期	2,169,500株
2024年5月期1Q	33株	2023年5月期	—株
2024年5月期1Q	2,180,500株	2023年5月期1Q	2,169,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、企業活動及び個人消費行動は徐々に活発に推移しております。一方で、各国の金融引き締めによる景気下振れリスクや円安に起因する物価上昇により、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループのITソリューション事業及びビジネスプロダクト事業が属するITサービス市場においては、生産性向上や業務効率化、新しい働き方を目的としたDX推進によるIT投資需要は依然として旺盛であります。ゲームコンテンツ事業が属するゲーム市場は、多様なデバイスで遊べるコンテンツの開発競争や新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により各種イベントの開催などリアルな取り組みが増えております。

このような状況のもと、ITソリューション事業においては、受託開発につながるコンサルティングフェーズやMicrosoft及びノーコード・ローコード分野に注力しつつ、前連結会計年度に引き続きRPAソリューションの拡大をはかってまいりました。

ビジネスプロダクト事業においては、生成AIを活用したマニュアル診断機能を追加するなどの製品機能の強化を行い、これにより診断事例の蓄積などが可能となりました。企業のマニュアル作成をトータルで支援するマニュアル作成コンサルティングやマニュアル作成代行といったソリューション等の営業活動の推進にもいっそう寄与することが期待できます。

また、上記のRPAソリューションの拡大で新たに開けた販路に対し、動画マニュアルの作成などを行い、顧客のDXをトータルで支援することで企業価値の最大化をはかってまいります。

ゲームコンテンツ事業においては、前連結会計年度に連結グループ入りした株式会社テンダゲームスとの統合効果を最大限に発揮すべく、コンシューマーゲーム分野、オンラインゲーム分野などのゲーム開発基盤の強化、ビジネスパートナー新規開拓に加え、人的交流など内外とのシナジー創出活動を行うほか、第2四半期以降に本格的に展開されるゲーム人材ラボビジネスの立ち上げ等に注力いたしました。

なお、株式会社テンダゲームスは2023年10月1日付けで当社のゲームコンテンツ事業を承継し、組織としての一体運用を加速させております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,070百万円（前年同四半期比8.2%増）、営業利益は120百万円（前年同四半期比50.2%増）、経常利益は123百万円（前年同四半期比97.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77百万円（前年同四半期比147.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (ITソリューション事業)

ITソリューション事業においては、企業のDX化等に向けた投資意欲は依然として強く、要件定義等の上流工程の受注は引き続き堅調です。また、前連結会計年度に連結グループ入りした連結子会社の増収分が寄与したことから、売上高は833百万円（前年同四半期比11.3%増）、セグメント利益は206百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

#### (ビジネスプロダクト事業)

ビジネスプロダクト事業においては、マニュアル作成代行等の新規サービスの受注拡大に努めました。主力製品である「Dojo」については納品の遅れの影響もあり、売上高は127百万円（前年同四半期比13.2%減）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比47.6%減）となりました。

#### (ゲームコンテンツ事業)

ゲームコンテンツ事業においては、前連結会計年度に連結グループ入りした連結子会社の増収分が寄与したことから、売上高は109百万円（前年同四半期比16.8%増）、セグメント利益は25百万円（前年同四半期比2,110.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

財政状態については、次のとおりであります。

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、3,140百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、2,657百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少が85百万円あったこと、受取手形、売掛金及び契約資産の減少が25百万円あったこと、仕掛品の増加が16百万円あったこと、その他の増加が28百万円あったこと等によります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、482百万円となりました。これは主にのれんの減少が8百万円あったこと、投資その他の資産の減少が8百万円あったこと等によります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、845百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ59百万円減少し、690百万円となりました。これは主に買掛金の増加14百万円あったこと、短期借入金の減少が50百万円あったこと、未払法人税等の減少が49百万円あったこと、その他の増加が31百万円あったこと等によります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、154百万円となりました。長期借入金の減少が27百万円あったこと等によります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、2,295百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を77百万円計上したこと、資本金の増加が6百万円あったこと、資本剰余金の増加が6百万円あったこと、剰余金の配当を86百万円行ったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日の「2023年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、連結業績予想に修正がある場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,095,715	2,010,255
受取手形、売掛金及び契約資産	572,720	547,418
商品	2,304	2,190
仕掛品	15,740	32,152
貯蔵品	240	257
その他	41,083	69,826
貸倒引当金	△4,339	△4,469
流動資産合計	2,723,465	2,657,631
固定資産		
有形固定資産	18,683	18,119
無形固定資産		
ソフトウェア	89,267	91,164
のれん	185,144	176,471
その他	242	242
無形固定資産合計	274,654	267,878
投資その他の資産		
その他	206,458	198,252
貸倒引当金	△1,291	△1,291
投資その他の資産合計	205,166	196,960
固定資産合計	498,503	482,958
資産合計	3,221,969	3,140,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,334	154,237
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	118,272	115,812
未払法人税等	93,298	43,341
前受収益	162,060	162,528
賞与引当金	7,062	2,488
その他	180,087	211,995
流動負債合計	750,115	690,403
固定負債		
長期借入金	155,036	127,928
その他	27,120	26,990
固定負債合計	182,156	154,918
負債合計	932,272	845,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,017	312,977
資本剰余金	772,598	779,558
利益剰余金	1,194,011	1,184,885
自己株式	—	△62
株主資本合計	2,272,627	2,277,359
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,069	17,908
その他の包括利益累計額合計	17,069	17,908
純資産合計	2,289,696	2,295,267
負債純資産合計	3,221,969	3,140,589

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	989,552	1,070,821
売上原価	617,387	643,058
売上総利益	372,164	427,763
販売費及び一般管理費	291,662	306,835
営業利益	80,502	120,928
営業外収益		
受取利息	10	95
助成金収入	2,334	3,342
その他	442	28
営業外収益合計	2,787	3,466
営業外費用		
地代家賃	16,564	—
支払利息	544	404
為替差損	2,417	526
その他	1,326	57
営業外費用合計	20,853	988
経常利益	62,436	123,406
特別損失		
訴訟関連損失	6,800	—
特別損失合計	6,800	—
税金等調整前四半期純利益	55,636	123,406
法人税、住民税及び事業税	4,670	37,532
法人税等調整額	19,529	8,219
法人税等合計	24,200	45,752
四半期純利益	31,436	77,654
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,436	77,654



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	31,436	77,654
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,920	839
その他の包括利益合計	1,920	839
四半期包括利益	33,357	78,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,357	78,493
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITソリューション事業	ビジネスプロダクト事業	ゲームコンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	748,501	147,050	94,000	989,552	—	989,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,364	—	—	2,364	△2,364	—
計	750,866	147,050	94,000	991,916	△2,364	989,552
セグメント利益	191,802	57,233	1,147	250,183	△169,680	80,502

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△169,680千円は、セグメント間取引消去5,825千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△175,505千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」のセグメント資産が362,027千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」において、のれんが159,659千円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITソリューション事業	ビジネスプロダクト事業	ゲームコンテツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	833,381	127,612	109,827	1,070,821	—	1,070,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,033	3,114	—	5,147	△5,147	—
計	835,414	130,727	109,827	1,075,969	△5,147	1,070,821
セグメント利益	206,119	30,015	25,364	261,499	△140,570	120,928

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△140,570千円は、セグメント間取引消去3,649千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△144,220千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。